

地方創生の新展開—外国人就労拡大政策と自治体人口対策

外国人住民の誘致・定住の促進方策

～「未来への投資」としての人口減少・人手不足対応戦略

—定住外国人の受入れと共生の仕組みづくり—

- 政策転換—地域のゴーストタウン化対策と外国人住民誘致への自治体戦略
- 言語教育—定住外国人との共生を支える日本語教育の保障と推進の方策
- 〔静岡・あらまほし〕定住外国人誘致を「未来への投資」とする外国人活躍の仕組みづくり
- 〔広島・安芸高田市〕自治体消滅危機を救う定住外国人の人口政策化と共生の推進施策

2018年9月8日（土）10:00～16:50 剛堂会館・会議室（東京・千代田区）

- 【講師陣】
- 毛受 敏浩** 氏 / 公益財団法人日本国際交流センター執行理事
 - 田中 宝紀** 氏 / NPO法人青少年自立援助センター 定住外国人支援事業部責任者
 - 戸田 佑也** 氏 / ㈱あらまほし代表取締役（静岡県）
 - 明木 一悦** 氏 / NPO法人安芸高田市国際交流協会理事 事務局長（広島県）

【参加要領】

■会場：剛堂会館・会議室
東京都千代田区紀尾井町3-27
（案内図は申込後送付）

■参加費（1名分）

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,500円
一般	35,000円	34,000円

参加費の払い戻しは致しませんので、申込後にご都合が悪く欠席される場合には代理の方の出席をお願い致します。

■支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替：00110-8-81660 口座名：㈱地域科学研究会

■申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
（FAX・郵送・メール等）

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方は当日受付でお渡し致します（日付、但書等の留意点があれば明記下さい）。

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp 2018年 月 日

■研修会『外国人住民の誘致・定住の促進方策』への参加 当日参加 ※メディア参加はありません

勤務先 _____ 連絡担当者 _____

所在地〒 _____ TEL _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____ FAX _____

_____ Email _____

（通信欄）○を付けて下さい
支払方法（請求後の振込・郵便振替・当日払い）
必要書類（納品書・請求書・見積書・領収書）
請求書等宛先名：_____

時	講義内容
10:00 ～ 11:25	<p>多文化共生から定住外国人誘致への政策転換 ～外国人と共に生きる社会への構想～</p> <p>公益財団法人日本国際交流センター執行理事 毛受 敏浩 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゴーストタウン化する日本列島(地方創生の限界) 2. 政策不在の中での急増する外国人 3. 政府の外国人受入れ新政策とは 4. 外国人住民誘致のために自治体がすべきこと <p>【質疑応答】</p> <p>【毛受 敏浩(めんじゅとしひろ)氏プロフィール】 慶応大学法学部卒。米国エバグリーン州立大学行政管理大学院修士。兵庫県庁で10年間の勤務後、1988年より日本国際交流センターに勤務。多文化共生・移民政策、草の根の国際交流調査研究、二国間賢人会議、NGO、フィランソロビー活動など多様な事業に携わる。2003年よりチーフ・プログラム・オフィサー、2012年より現職。慶応大学、静岡文芸大学等で非常勤講師を歴任。現在、総務大臣賞自治体国際交流表彰選考委員、新宿区多文化共生まちづくり会議議長、未来を創る財団理事、日本NPOセンター理事。第一回国際交流・協力実践者全国会議委員長。著書に『自治体がひらく日本の移民政策—人口減少時代の多文化共生への挑戦』、『人口激減—移民は日本に必要である』、『異文化体験入門』、『地球市民ネットワーク』、『限界国家』など。</p>
11:35 ～ 13:00	<p>定住外国人との共生を支える日本語教育の推進 —日本における言語教育保障の現状と課題</p> <p>NPO法人青少年自立援助センター 定住外国人支援事業部責任者 田中 宝紀 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定住外国人・海外にルーツを持つ住民のための言語教育の現状と課題 2. 自治体、民間による先進事例 3. 言語教育におけるICT活用の可能性 4. 国、自治体、地域に求められること <p>【質疑応答】</p> <p>【田中 宝紀(たなかいき)氏プロフィール】 1979年東京都生まれ。16才で単身フィリピンのハイスクールに留学。フィリピンの子ども支援NGOを経て、2010年より現職。「多様性が豊かさとなる未来」を目指して、海外にルーツを持つ子どもたちの専門的日本語教育を支援する『YSCグローバル・スクール』を運営する他、日本語を母語としない若者の自立就労支援に取り組む。現在までに30カ国、600名を超える子ども・若者を支援。日本語や文化の壁、いじめ、貧困など、こうした子どもや若者が直面する課題を社会化するために、積極的な情報発信を行っている。</p>
13:50 ～ 15:15	<p>未来への投資としての定住外国人の受入れ ～外国人が活躍する社会に向けた仕組みづくり～</p> <p>(株)あらまほし代表取締役(静岡) 戸田 佑也 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国人住民の増加する地方都市 2. 企業に求められる外国人とマッチングの課題 3. 事例紹介:活躍する定住外国人 4. 外国人が活躍しやすい仕組みづくり <p>【質疑応答】</p> <p>【戸田 佑也(とだゆうや)氏プロフィール】 株式会社あらまほし代表取締役。地方創生に向けた政策コンサルティングなどに取り組んでいる。一般財団法人未来を創る財団「定住外国人政策研究会」メンバーとして、「定住外国人の受け入れ」に関する提言の検討に携わった。その他、第2次掛川市多文化共生推進プラン策定市民委員(2015年度)、掛川観光協会掛川支部理事(2016～17年度)などを歴任。毛受敏浩編著『自治体がひらく日本の移民政策』(明石書店)を共著者の一人として執筆。</p>
15:25 ～ 16:50	<p>「自治体消滅」危機感からの「外国人と共生」まちづくりの推進 ～住民サービスから移住者受入れにシフトした多文化共生推進政策～</p> <p>NPO法人安芸高田市国際交流協会理事 事務局長(広島) 明木 一悦 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安芸高田市の人口問題 (1)人口の減少 (2)深刻な企業の人手不足 2. 自治体存亡への危機感と対応策 (1)定住外国人と「人口」対策 (2)人権多文化共生推進課の設置 (3)安芸高田市国際交流協会の活動 (4)安芸高田市多文化共生推進プランの策定 3. 住民サービスから受け入れへのシフト政策 (1)担い手人口対策 (2)第2次安芸高田市多文化共生推進プラン 4. 今後の展望 <p>【2018.6.8 東京新聞「こちら特報部」で紹介】 【質疑応答】</p> <p>【明木 一悦(めいきかずよし)氏プロフィール】 大学卒業後、海外での勤務等を経て、1990年日本国内で外資系勤務を始め、虹の会に参加し外国人生活相談会活動を行う。2002年より地方議会議員として活動したのち、2011年東日本大震災を受け、「安芸陸前高田夢応援団」を設立。陸前高田市でボランティア活動に従事。また、安芸高田市より多文化共生推進員を任命され活動を開始し、2013年安芸高田市国際交流協会事務局長に就任。熊本大震災では多言語支援センター設置に尽力した。NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事也。</p>